



15年間ありがとうございました

1988年春に大阪市立大学第2外科（現在、大阪公立大学）に研修医として入局以来、20年間医局の人事異動によりいろいろな病院を回ってきましたが、開業医の先生方のように一ヶ所でそこから動くことなく責任をもった地域医療をしたいと思っていたところ、異動がないことを条件に2009年4月当時の第2外科の末廣教授から当院に外科部長として派遣されてまいりました。

それまでの20年間に鍛えてもらった諸先輩方の教えを活かして、微力ではありましたが、15年間決して力を抜くことなく白庭病院外科に勤めてきました。

心がけてきたことは、患者さんにとって最上と考える治療、開業医の先生方からの依頼に応える事でした。緊急症例は夜間休日を問わず緊急手術を含めて対応、また容易に他院に転送する事なくできるだけ当院で対応、幅広い疾患に対する手術も大学からの上級医を一度も要請せず行ってまいりました。

2024年3月末までに、胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆嚢癌、乳癌などの悪性疾患から胆嚢結石症、鼠径ヘルニア、気胸、痔疾患、下肢静脈瘤から巨大皮下腫瘍まで約2700件の手術を行わせていただきました。今回、諸事情によりメスを置き外科部長を辞する事になりましたが、自分のしたい外科医療をさせていただいた白庭病院には深く感謝しております。

4月からは（外科の後任が新たに赴任するまで外科をアシストしながら、）この白庭病院の訪問診療科に舞台を移して勤務する事になりました。今後とも引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、これまで当院外科をたよっていたいただいた患者様のご健康と、お世話になりました開業医の先生方の今後ますますのご発展をお祈りして最後のご挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

2024年3月

外科部長 久保田太輔